

平成30年7月豪雨災に係る地元説明会を開催しました

平成30年 9月 10日
徳島森林管理署

徳島県西部地域に甚大な被害があった平成30年7月豪雨では、三好市東祖谷地区で実行中の民有林直轄治山事業の区域内にも被害の爪痕を残しました。

特に、三好市東祖谷小川地区では、新たに地すべりの兆候を示すクラックが確認できたほか、三好市道の擁壁の一部が傾くなどの被害がでました。

このため、徳島森林管理署では、9月5日に三好市林業振興課、危機管理課と共同で小川地区住民を対象に、現在の状況と今後の対策に関する説明会を行いました。



17名の住民が出席しました

まず、徳島森林管理署から小川地区内での地すべりの兆候についての説明に加え、今後地すべりの兆候付近に調査孔を設置し、地すべりの原因や具体的な対策工を検討していくことについて説明しました。



総括治山技術官からの説明

その後、三好市林業振興課と危機管理課から市道擁壁の傾きに対する緊急的な工事や住民への避難情報等の伝達方法についての説明を行いました。

徳島森林管理署では、今回の災害について引き続き三好市林業振興課・危機管理課と緊密に連携しつつ、効果的な対策の検討とその後の実施に向けた取組を行っています。



住民から三好市への質問